

会 議 録

1 会議名

第1回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

・令和5年度第1回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について

（3）市からの報告

・3区中学校統合の進捗状況について

○協議（公開）

（1）令和5年度活動計画について

○その他（公開）

・各区（板倉・三和・有田・柿崎・中郷・和田）における「地域活性化の方向性」

・上越市第7次総合計画（本編・ダイジェスト版）

3 開催日時

令和5年4月25日（火）午後6時5分から7時27分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：相澤誠一、池田幸博副会長、春日清美、北澤誠、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏裕会長、宮川勇、村松進副会長

・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、佐々木次長、竹田次長、産業グループ宮川グループ長、滝澤主幹、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ西山グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、高原主任

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者は10人。欠席者は赤川義男委員、小野正広委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：春日清美委員に依頼。

【藤田会長】

次第の「2 報告」の「(1) 会長報告」であるが、今回は持ち合わせていない。

続いて「(2) 委員報告」で、「令和5年度第1回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について」春日委員から報告をいただく。

【春日委員】

昨日の午後6時30分から、ここ浦川原コミュニティプラザの市民活動室4・5で令和5年度第1回浦川原区公共交通懇話会が開催された。

内容は、大きく3つあり、交通政策課から「第2次上越市総合公共交通計画 後期再編計画の策定について」と「予約型コミュニティバスの概要及び実証運行について」、総合事務所から「浦川原区における再編の方向性について」説明を受けた。

一つ目の「第2次上越市総合公共交通計画 後期再編計画の策定について」では、今年度で前期4年間が終わる計画において、令和6年度から9年度までの後期4年間の再編計画を作っていくものである。

次に、「予約型コミュニティバスの概要及び実証運行について」で、安塚区と牧区で令和4年10月から3月まで実証運行が行われ、今月から本運行が開始された。この予約型コミュニティバスは、従来の予約型デマンドバスと違い、決まった時刻表やルートがなく、予約のあった停留所間を結んで運行するものである。ただし、牧区では小中学生の通学に利用する時間帯は定時定路線で運行している。

半年間の実証運行の結果、安塚区では前年度に比べて利用者が3割以上増加し、また、アンケートでは9割以上の方が、「便利になった」「やや便利になった」と回答したほか、聞き取り調査においても「便利になった」との感想が最も多く聞かれた。

今後の課題として、利用者が少ない朝・夕方の利用促進や、予約方法の周知、他地域での実施に際して、既存のバスやタクシーなどとの関係性の考慮などがある。

3つ目の「浦川原区における再編の方向性について」では、令和4年9月末時点の利用実

績から、直江津・浦川原線、高田・浦川原線は現状維持、大平線は、令和6年3月の高田高校安塚分校の閉校に伴う再編を検討し、現在デマンド運行している月影・下保倉・末広ルートは、予約型コミュニティバスに転換し、区内全域を対象に運行する方向で考えている。

今後、予約型コミュニティバスを導入する方向性について、町内会長が集まる会議や地区別に開催する懇談会など、地域への説明を行っていくこととし、特に高齢者が利用しやすいように、町内会長や民生委員などにお聴きしながら、新たな停留所の設置希望について伺っていくこととしたいとの考えであった。

【藤田会長】

今の報告について質問、意見等あれば受ける。

私から、現在、Bグループにおいて今後の浦川原区の交通事情をどうしていくかについて検討しているが、予約型コミュニティバスは来年度から実施することで決定ということなのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

現在、導入を検討している段階で、導入するというだけで動いているわけではない。

【藤田会長】

導入すると決めたのではなく、導入に向けて地域の方々の考えを聴いていくということか。
現在、Bグループで検討している案件との整合性についてどう考えているのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

Bグループのグループワークの中でも市、総合事務所としては、導入を進める方向で考えているというお話はさせていただいている。

【藤田会長】

それでは、懇話会では導入を前提として話を進めたということか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

Bグループでは、当初、互助による輸送を考えていたが、現在は予約型コミュニティバスの導入の方向で考えていると思っており、それをどういった形で導入していくかというところを話し合っているのではないか。

【藤田会長】

違っていると思う。実証運行の結果を検討してから導入するかしないかを問うことも一つの方法だと思うが、我々が検討している内容については、全く議題にも上げないということなのか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

Bグループでは、互助による輸送ではなく、予約型コミュニティバスの実証運行の結果を見て、浦川原で導入する場合にどのような形が良いかということを検討してきたのではないかと。

【藤田会長】

それは承知している。しかし、春日委員の報告を聞けば、導入されることは決まっているのではないかと。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

まだ決めたわけではない。総合事務所としては、予約型コミュニティバスを導入することで、住民の方々にとって利便性が高まると思われるため、導入について地域の意見を伺っていくということである。

【佐藤所長】

Bグループには、3月にそれに近い内容の説明をさせていただいているかと思う。

【藤田会長】

しかし、懇話会の方は決定しているのではないかと。

【佐藤所長】

懇話会では、今回の方向性に対してどうするのかということについて今後検討していくものである。

【藤田会長】

了解した。

次に、五井野委員から報告をお願いします。

【五井野委員】

中学生との意見交換会における令和5年度の実施について2点報告する。

今までは単年度で終わっていたが、令和4年度においては、文化・芸能3団体を盛り立てていこうという子どもたちの考えの中、令和5年度に進級した2年生から、この学習を継続していきたいという話があった。

具体的には、ポスターの作製や、グッズの作製及び販売により、PRや収入につながるということで、途中経過のような形になるかもしれないが、その学習成果の発表として「うらがわらまつりでブースの一画を借りたい」ということであった。過去に浦川原中学校では、「うらがわらまつり」が開催される際にブースを借りたこともあり、吹奏楽等の発表の機会をいただいていたわけであるが、そこを2年生に割り当てたいということである。

せっかくの機会であり、中学生だけの発表で終わるのではなく、保護者を交えた親と子による学習の場、親睦を深めるような場にできれば良いのではないかと考えて提案したところ、

それらを「親子活動」と位置付け、「うらがわらまつり」で3団体のPR等の場にしていきたいとのことであった。

もう一点は、文化3団体の発表の場として、同窓会の宮川会長から「10月28日午前に予定されている中学校の閉校記念音楽祭で発表できないか」との提案があり、学校側からも賛成いただいたため、私から依頼させていただいた。飯室神楽は、生徒との約束もあり「絶対に出る」という思いをお聞きした。月影雅楽は、北澤正彦委員に窓口になっていただき依頼し快諾を得ている。保倉川太鼓も出演するので、3団体そろって出演する予定である。地域住民が参加可能なのかについては、今後、検討されると思うが、地域協議会の委員の皆さんには、是非足を運んでいただきたいと思っている。

【藤田会長】

大変前向きな話であり、是非、「うらがわらまつり」の企画の中に入れていただきたい。また、3団体揃っての浦川原中学校閉校記念音楽祭への参加ということで、ありがたいと感じている。それが一つのきっかけになれば良いと思う。よろしく願いたい。

今の報告について、意見、質問等あれば受ける。

【北澤正彦委員】

中学生との意見交換会について、今年度、2年生が「うらがわらまつり」において発表するということであるが、1年生を対象とした意見交換会は実施しないということなのか。それとも、2年生の延長分とは別に、今年の1年生を対象とした意見交換会も通常どおり開催するということなのか。

【五井野委員】

2年生は、令和4年度の意見交換会の延長として学習を深めていきたいということで、1年生対象の今までの意見交換会とは別に実施されたいと思っただきたい。中学校の年間計画では、意見交換会ではなく「浦川原のいいところ探し」という名目でスケジューリングされている。令和5年度は、令和4年度からの引き続きの案件と、令和5年度の新規の取組と2つ実施することになる。

【北澤正彦委員】

了解した。

【村松副会長】

昨年から継続して実施する分も我々実行委員が中心となったほうが良いのか、それとも地域協議会全体が中心となるのか。皆さん、どちらが良いと考えるか。

【五井野委員】

2年生が継続する学習については、実行委員は関わらなくて良いのではないかと考える。中学校がきちんと企画、計画しており、関わる先生等もきちんと位置付けされている。ただし、中学校から「地域協議会委員の意見が欲しい」などの相談があれば、村松副会長へ連絡させていただく。

【村松副会長】

了解した。

【藤田会長】

後ほど自主的審議の報告を受けるが、一步前進したのではないかと思っている。また、活動する上での予算化などについても、北澤正彦委員よろしくお願ひしたい。

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「(3)市からの報告」で、「3区中学校統合の進捗状況について」お願ひする。

【教育・文化グループ西山グループ長】

前回、3月25日の地域協議会以降に統合に伴う委員会や各部会は開催されていないが、4月28日金曜日に、新たな制服と体操着のお披露目会を計画している。当日は、3区の小学校4年生から6年生までと中学生、その保護者から参加いただき、実際に中学生がモデルとなって制服や体操着を着てお披露目する予定となっている。また、当日は、お披露目以外にも生徒の交流を予定しており、お披露目会終了後は、安塚区と大島区の児童、生徒及び保護者による校舎内の見学を予定している。

新しい制服と体操着については、お披露目会後に保護者へアンケートを実施して、その結果を基に5月17日のPTA部会で協議し、5月31日の3区中学校統合実行委員会で正式決定する予定である。

【藤田会長】

今の報告について質問、意見等あれば受ける。

【北澤誠委員】

お披露目会やその後のいろいろな会議について、子どものいない市民は参加できないのか。

【佐藤所長】

会議において、一部は非公開となっているが、その他は公開である。今回のお披露目会は、制服を決定するため、児童や生徒、保護者の皆さんから実際に見ていただくための会であるため、対象を限定して開催することになるが、他の各部会については、非公開の案件でなければ公開としている。

【北澤誠委員】

了解した。

いろいろ確認事項等があると思うが、くれぐれも漏れのないようにお願いしたい。統合後に遺漏があったということが小学校統合の時にあったため、よろしくお願いしたい。

【藤田会長】

北澤誠委員、具体的にどのような部分か。

【北澤誠委員】

当時、私は地域協議会委員ではなかったので詳しく知らないが、どん帳や演台の予算が足りなくなって、後から予算化したというケースがあったようである。

【佐藤所長】

どん帳など新しい校章を入れたものは既に予算化されているため、心配ないと思われるが、そういったことがないように事務局や学校と協議しながら進めていきたい。

【北澤誠委員】

了解した。きちんとしていただければそれで良い。

【藤田会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「3 協議」に入る。「令和5年度活動計画について」資料1をご覧ください。前回の地域協議会において、皆さんから意見をいただいた内容を記載している。本日は、皆さんの意見を計画としてまとめていきたいと考えているため、積極的な発言をお願いしたい。

最初に「1 自主的審議」について、我々委員の任期が来年4月までとなっているため、今年度の到達目標を含めて意見をまとめていきたい。

池田副会長、Aグループとして、どのように考えているか。

【池田副会長】

4月17日にグループワークを開催した。内容は、今までの確認と情報の共有ということで、月影芸能まつりや和太鼓祭、浦中音楽祭などに参加してもらえるようにしていこうということで進めてきた。

先ほど、五井野委員や北澤正彦委員から説明があったとおり、10月28日の浦中閉校記念音楽祭に3団体から出演してもらえることとなり、少しずつ成果が出てきたと思っている。

我々の任期があと1年ということで、最初の計画が全て達成できるかわからないが、まと

めについて、今後のグループワークの中で決めていきたいと考えている。

流れとしては、最終的な着地点としてどうするのか。例えば、Bグループのように意見書を提出するなどいろいろな形があると思うが、こういった方向が良いのか、今後のグループワークで考えていきたい。

【藤田会長】

次に私からBグループの報告をさせていただく。

5月11日にグループワークを開催することになっているが、意見書に対する電車関連の回答全てにおいて「北越急行へ伝える」という文章だけであり、市としての自主性が見られないため、再度、回答を求めていく可能性もある。

また、駅舎を活用した利用促進や地域活性化という部分について、個人的に各団体へ話をしながら組織作りを進めているところである。

また、コミュニティバスの導入については、市が、浦川原区の交通事情をどのように考えているのか。必要な人が一人でもいれば支援していくという基本的な部分に対応できるのか、検討していきたいと思っている。

まとめについては、Aグループと同様に年度内にまとめることができるように進めていきたいと考えている。

続いて、「2 地域活性化の方向性」については、8月の完成に向けて協議を進めていきたい。Aグループの話が具体的になってきた場合、予算の問題が付いて回るとしており、この部分の調整が大事になってくると思われる。3団体がどのように受け止め、どのように今後活かしていくことができるか、北澤正彦委員にフォローをお願いしたい。また、Bグループについても予算が必要なものについては市へお願いしていきたい。

今の部分については、8月までに方向性をまとめ、総合事務所とすり合わせができるようをお願いしたいと思っている。

【北澤正彦委員】

先ほどのBグループの意見書への回答に関する報告で、Bグループ以外の他の組織に声をかけているという話があったが、Bグループの協議とは別の組織でも協議しているということなのか、それとも、今後、別の組織も交えて話し合っていくということなのか。もう少し詳しく教えていただきたい。

【藤田会長】

地域協議会は実行団体にはなれないため、地域で受け皿となる団体が必要である。例えば、「虫川の大スギ」であれば虫川町内会というように、地域協議会で企画した事業に対して実

行していただけるような民間の団体を探しているということである。

【北澤正彦委員】

Bグループが検討を進めている計画の中に、その団体があるという認識で良いのか。それとも、そういった組織作りを今から始めていくということなのか。

【藤田会長】

後者である。

実施団体については白紙の状態であり、事業を担うことができる団体を立ち上げ、そこへお願いしていくような形にしなければ、地域の活性化につながらないのではないかと考えている。

【北澤正彦委員】

了解した。

【藤田会長】

続いて、「3 出張地域協議会」について、正副会長の事前の打合せでは、順番で末広地区になることを確認した。この部分について何か意見、質問等あれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

日程等について具体的な意見は出ていないが、恐らく秋頃になると考えている。この部分については、正副会長から改めて提案させていただきたいと思っている。

続いて、「4 中学生との意見交換会」について、浦川原中学校として最後の年になる。実行委員長の村松副会長から説明を受ける。

【村松副会長】

実行委員は前年度からの継続とさせていただきたいと考えている。五井野委員から話があったように、令和4年度から継続して実施するものと、令和5年度に新規で実施するものがある。教育・文化グループの西山グループ長と一緒に中学校へ出向いて、どのように実施するか決めたいと思っている。令和4年度から継続する学習について、地域協議会としては関わらなくて良いということであるが、実行委員としてできるだけ協力していきたい。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等あれば受ける。

私としては、新たな中学校でもこの伝統を引き継いでいただきたいと思っている。

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「5 研修会の開催」について、テーマや講師、会場等について、皆さんからの

意見をお願いしたい。たたき台として村松副会長から意見があるため、説明をお願いしたい。

【村松副会長】

私の提案は、空き家や月影地区のような限界集落と言われる地域について、十日町市松代において古民家再生で活躍されている、カールベンクスアンドアソシエイト有限会社取締役カールベンクスさんを招いて、空き家などをどのようにしていけば良いか講義していただきたいと考えている。

先日、アポなしであるが、十日町市へ訪ねたところ、県外へ出かけていて会えなかったため、後日私へ連絡が来ることになっている。

皆さんの意見等をお聞きしたい。

【藤田会長】

他にも提案がある。吉川区の天明さんについて、吉川区から何か情報はもらえたか。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

吉川区へ問合せをして資料的なものはいただいている。

正副会長会議において、吉川区の天明さんのほか、板倉区、清里区のいずれも農業をされている方々に講師をお願いしてはどうかと提案があったことから、資料を集めているところである。

委員の意見をいただいて、正副会長と相談していきたいと考えている。

【藤田会長】

カールベンクスアンドアソシエイト有限会社取締役の方は古民家を再生し、都会から人々を呼ぶという活動をされている方である。天明さんは吉川区で農業をされており、リーダー的な役割をしながら地域おこし協力隊の活動に協力されている方である。また、板倉区と清里区の方は大規模農家をされている。

皆さんから、浦川原区において何が大切であるかを踏まえて協議していただきたい。次回の地域協議会において具体的な方向性を出していけたらと考えている。

【相澤委員】

農業をされている3人の名前が挙げたが、どういう方向性、内容で研修をしていくのか、具体的なものがないとわからない。

天明さんは、県外から来て山の上に住まれ、規模的には余り大きくないが、「星の谷ファーム」を営んでいて、その地域のすばらしさを教えていくなどの活動をされている。浦川原区においては、月影地区や中保倉地区が同じ中山間地であるので、天明さんのやり方を学ぶのか。また、地域おこし協力隊の新規就農においても、天明さんのお陰で定着したという

話をお聞きしている。

また、清里区の方は「グリーンファーム清里」という会社を立ち上げ、幾つかの法人が合併するような形で清里区全部を一つの農場と見なし、地域全体で農業をしていくことができるのではないかと活動がされている。中山間地も含めた地区全体の農業を受けるという形で、非常に頑張っている。

板倉区の方は、完全に会社的な考えの農業で、板倉区において200町歩近くの田んぼをされている。全く農業経験のない社員もいて、今までの農業従事者とは全く違う考え方である。

三者三様で、方向性がまるで違っているため、浦川原区として、どの部分を勉強していくのかをきちんと決めなければならないのではないかと考える。

【藤田会長】

相澤委員は農業従事者であり、どうすれば良いと思うか。

【相澤委員】

私としては、清里区の方が良いのではないかと考える。

現在、浦川原区には農業公社がある。清里区の方は、元々農業公社の中にグリーンファームを立ち上げた経緯から、将来的にも続けていくという意思がある。現在の農業公社が続くかどうかはわからないが、同じような組織が浦川原区にもあるのであれば、そこを中心にやってみることができるのではないかと考えている。

天明さんも非常に良いと思うが、人を呼び寄せるという部分の前に、廃れていく農地をどうしていくのかというところを勉強しなければならないのではないかと考えるため、清里区の方の手法を学んだほうが良いと思う。

【池田副会長】

研修会の講師について議論されているが、私たち地域協議会委員にとって意義のある内容が良いと思う。我々が、古民家再生や農業の専門家の講演を聞いても、それほどためになるとは思えない。今後、疲弊し廃れていく浦川原区にとって、プラスとなるような講演になるような講師をオファーした方が良いのではないかと考える。

【春日委員】

私の希望は、地域おこし協力隊をどのように活用していけば良いのかについて、事例なども含めて市から教えていただきたいと考える。

【藤田会長】

そういった話ならば天明さんである。まとめ役として活動しておられる。

【北澤正彦委員】

村松副会長から古民家再生で活躍されている方の提案があったが、私が最近気になっているのは、空き家の問題である。空き家をどのように活用していくか。都会から若い人を呼びたいと活動している方が全国にたくさんいる。

空き家の問題は、法律や権利において複雑な部分もあり、それをどのようにクリアしていくか。皆さん頑張っており、良い話、ためになる話もあると考える。古民家再生も良い話だと思うが、実際の空き家に関しては、人口増や活性化に直結する重要な問題であり、そういった内容の話を聞くことができれば、大変ありがたいと考える。

【藤田会長】

今年度は、当協議会が大浦安の地域協議会委員の合同研修会の当番になっており、北澤正彦委員の言われる部分は大浦安の共通の問題となっていると思われるため、合同研修会のテーマとして提案できれば良いのではないかと考えている。

いろいろ意見はあると思うが、中山間地としての問題が一番だと思われるため、浦川原区の研修会については、天明さんから具体的な例をお聞きするのが良いのではないかとと思う。皆さんいかがか。

(会場内から「異議なし」の声)

それでは浦川原区の研修会については、天明さんを講師として事務局から調整してもらう。また、大浦安合同の研修会については、北澤正彦委員の言われるように、古民家再生ではなく空き家の活用についてまとめていきたいと考える。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

浦川原区地域協議会委員の研修会は、吉川区の天明さんに講師をお願いする方向で調整させていただく。また、大浦安の合同研修会は、空き家の活用についての研修ということで、正副会長と相談しながら方向性や講師候補を選定していきたい。

【藤田会長】

以前、佐藤所長から「講師が決定したら、直接お会いして、こちらの意向をきちんと伝えられた方が良い」といった意見があった。そのための時間を作っていくので、よろしくお願ひしたい。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

事務局としては、講師の依頼や旅費などの事務的な話を進め、講話の内容や研修の進め方については、地域協議会の皆さんとの打合せにより伝えていただきたいと考えている。

【藤田会長】

よろしく願います。

【村松副会長】

農業の研修も良いと思うが、浦川原区は中山間地だけではなく平場もある。中山間地で農業をされている方々は、中山間地域直接支払制度を活用している。しかし、浦川原区では直払いに入っている集落が少ない。そういったことも考慮した場合、どのように考えていくのかという部分もある。また、空き家については、今後1～2年で状況が変わることはないと思う。要するに、今後、浦川原をどのような方向へ持っていくのが良いのかについて考えなければならないと思っている。

浦川原区の研修会は農業で良いが、大浦安の研修会については、私も古民家再生の方で手挙げしているので、また皆さんで協議をお願いしたい。

【藤田会長】

意見としてお聞きしておく。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

研修会のおおよその時期について協議していただきたい。

天明さんについては、既に候補に挙がっているため比較的スムーズにいくと思うが、大浦安の合同研修会については、これから講師の選定に入るため、少しお時間をいただきたい。

【藤田会長】

時期については、昨年度のように年度末近くなってから慌てて実施するというものがないように、12月までには実施したいと考えている。

続いて、「6 地域協議会だよりの発行」について、例年どおり6月、10月、3月の発行とし、編集委員4人体制で進めていくことで了承いただきたい。内容として、6月には我々が協議する方向性も定まってくると考える。また、3月に任期が終わるということで、報告や挨拶などになると考えられる。

次に「4 その他」に移る。「各区における『地域活性化の方向性』」と「上越市第7次総合計画」について、また、本日配付された資料について事務局に説明をお願いする。

【総務・地域振興グループ北澤班長】

(資料2及び当日配付資料に沿って説明)

【藤田会長】

本日配られた資料について、皆さんから目を通して委員活動の参考としていただき、疑問点等があれば会議の場や電話で問い合わせていただきたい。

次に「5 次回の会議日程」について、次回は5月30日火曜日、午後6時30分から浦

川原コミュニティプラザで行う。

【池田副会長】

委員報告の中で、五井野委員から中学生との意見交換会の話があり、「うらがわらまつり」で中学生が発表したいという話があった。昨年、制約のある中で「うらがわらまつり」を開催し、コロナ禍前に近い来場者があった。

今年は、5月19日金曜日に「うらがわらまつり実行委員会」を開催する予定である。実行委員会は、区内の関係団体の皆さんから参集いただき、協議しながら8月に開催するまつりまで進めていくものであるので、委員の皆さんからもご協力をお願いします。

【藤田会長】

本当に一歩前進したと思っており、私も安堵しているところである。

これで、第1回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。